

2013年10月30日

会員各位

公益社団法人日本産婦人科医会  
会長 木下 勝之

『先天性風疹症候群に関する Q&A (国立感染症研究所)』について

謹啓 先生方におかれましては益々ご清栄の事とお慶び申し上げます。

さて、一昨年来流行が続いている風疹につきましては本年、特段顕著な流行が続き、すでに今シーズンで 19 名の先天性風疹症候群児 (CRS 児) が出産しております。先天性風疹症候群児 (CRS 児) につきましては感染症法に基づき所轄の保健所へ医師による届出が義務付けられております。

また、CRS 児の出産後は児から生後しばらくの間、風しんウイルスが検出されることが知られており医学的対応とともに患児、ならびに保護者・家族に対して十分な社会的配慮・対応が求められることとなります。

このたび国立感染症研究所から公表されました『先天性風疹症候群に関する Q&A』につきましてはこれらの CRS にかかわる医療者、保健所、保健福祉行政担当者への情報提供を含めた QA 形式となっております。会員各位におかれましては CRS 児に対応する際には本 QA を参照のうえ、適切にご対応、ご配慮のほどお願い申し上げます。

『先天性風疹症候群に関する Q&A (国立感染症研究所)』本文は下記ウェブをご覧ください。

謹白

■先天性風疹症候群に関する Q&A (2013年9月)

(国立感染症研究所 感染症疫学センター、同 ウイルス第三部)

<http://www.nih.go.jp/niid/ja/crsqa.html>